

なぞり書きで楽しむ

けいこちょう

もこ著

もこ字お稽古帳

万年筆やお気に入りのペンで書いてみよう

定価 1,760 円
(10%税込)
マール社

本をよむならいまだ

新しい頁をきりはなそうとき

紙の花粉はもうひよく立つ

そこの賑やかな新緑まで

ペーパードライイングに慣れてるやうだ

本は美しい信愛をもって私を囲んである

室生犀星 “本”

文章を書いてみよう

字を書くことに、

ひたすら没頭したい。

レトロな創作文字「もこ字」で
文章を書いて、手書き&インクの
世界に浸ってみませんか？

猫の耳というものはまことに可笑しいものである。薄べったくて、冷たくて、竹の子の皮のように、表面は絨毛が生えていて、裏はじわじわしている。暖かいような、柔らかなような、なんともいえない一種特異の物質である。

梶井基次郎「笑劇」より

猫の耳というものはまことに可笑しいものである。薄べったくて、冷たくて、竹の子の皮のように、表面は絨毛が生えていて、裏はじわじわしている。暖かいような、柔らかなような、なんともいえない一種特異の物質である。

ペタッと開いて、
書き込みやすい！

